

# 町政を問う

## エコ活動や親しみのもてる町民の森を！

### 町長 自然が保存できるような利活用を考えている



松原 研一

**町民の森活用策と地域の活性化について**

**松原** 昨年、取得し整備を進めている町民の森で動植物の調査はされたのか。

**町長** 町民の森については、公的利用という方向を打ち出し、なるべく経費をかけず、それで自然が保存できるように利活用を考えていく。

調査結果については、課長が説明します。

**企画課長** 二十三年度の調査では両生類ではツチガエル、アカハライモリ。植物では、ナガミノツルキケマンが発見された。二十四年の調査ではエビネ族の一種と、鳥類ではコシアカツバメ、ノスリを確認。

**松原** 今年度末で整備が

## 地域に合った活性化対策の考え方は？

### 町長 住民と行政が協働で

完了する。放っておいたら荒れてしまう。その後の管理は、ボランティアを募りやってみようか。

**町長** エントランス部分には多少建屋ができる程度。二十七年には直営で管理し、課題を検討していく。椎茸の生産活動の一助となると思う。

**松原** クヌギ等で椎茸の原木。雑木は薪ストーブの燃料にし、エコ活動に



整備がすすむ町民の森

結びつくように。また、樹木等に銘板を付け、町民が親しみがもてる里山にしたらどうか。

**町長** 周遊の順路については今年度中に実施。銘板も含め、できることから実施。人が入れられ気持ちの良い部分になるよう考えている。

### 地域の活性化について

**松原** 中山間地域では、少子高齢化が進行するなか、活性化は地域の存続に重要な要素だと思つ。

その中で二部・日光地区においては、地域住民と行政の協働のまちづくりを展開し、現在活性化している。八郷地区においては、集落ごとの展開で地区全体としての特徴がわかりにくい。その地域のものを活用し、その

地域にあった活性化策を見い出す必要がある。

二部・日光地区のように常設の公民館活動というのではなく、節目節目に指導、相談にのってもらえるような体制を作ってみようか。

**町長** 中山間地域の前向きな取り組みということの前提で、住民と行政との協働の取り組みが大事だということには異論はない。



地域の宝 秀峰大山

二部・日光地区も住民が主で公民館等が下手間のイメージである。八郷地区をみると、公共投資民間インフラも町内で一番である。それぞれの集落と施設との結びつきを無視して、地域のままではできない。

問題意識をもっておられる方で話をし、その場所に役場が出向いていく。そういう手順になるのではないか。



地藏滝の水辺（丸山地区）